



**錦地域
まちづくり広報紙
第40号**

令和8年3月19日
発行責任者/山本直由
発行/錦地域まちづくり協議会

錦地域まちづくり協議会構成団体

- | | |
|----------------|----------------|
| 錦地区連合自治会 | 錦地区老人クラブ連絡協議会 |
| 錦地区社会福祉協議会 | 錦地区自主防災会 |
| 錦体育協会 | 錦地区青少年育成会 |
| 錦地区民生委員児童委員協議会 | 錦青年会 |
| 宇都宮市立錦小学校 | 宇都宮東交通安全協会陽北支部 |
| 宇都宮市立陽北中学校 | 錦地区交通安全推進協議会 |
| 宇都宮市立錦小PTA | 御用川錦河川愛護会 |
| 宇都宮市立陽北中PTA | 錦地区女性防火クラブ |
| 錦小地域協議会 | 八坂神社神輿奉賛会 |
| 錦地区子ども育成会連絡協議会 | 錦地域リサイクル推進部会 |
| 錦防犯パトロール隊 | 宇都宮市消防団第五分団 |

錦地区連合自治会より

錦地区連合自治会
会長 増田 良二



JR 宇都宮駅西口周辺地区の 景観形成に関する勉強会の報告

今泉1丁目自治会
会長 小柳 幹夫



地域自治振興功労者に3氏が受賞

令和7年11月29日、自治会長大会が、宇都宮市役所大会議室において開かれました。各地区の自治会長の代表者など約150名が参加して、宇都宮市長表彰式が行われ、地域自治振興功労者として、75名が表彰されました。錦地区からは、増田良二八坂自治会長と武田崇今泉西自治会長が在職1年以上として、高山崇北河原自治会長が在職5年以上として表彰されました。授与式では、受賞者代表として、増田会長に佐藤市長から表彰状が授与されました。

引き続き行われた講演会では、宇都宮市文化財ボランティア協議会長の犬塚雅之氏により「宇都宮のいいところ発見」という演題で、古代から弥生時代を中心とする講話があり、参加者一同、宇都宮の歴史を再認識しました。

「宮 PASS スタンプラリー」を実施

昨年に引き続き、宇都宮市自治会連合会の自治会員を対象として、自治会員優待制度「宮PASS」を活用したイベントを実施することで、自治会加入メリットのさらなる創出を図る目的に、10月1日～12月26日、「宮PASSスタンプラリー」が行われました。



本年度は2年目を迎え、更なる周知・啓発につなげるため、店舗の拡大に加え、行政・地域イベントもスタンプラリーに加えることとなりました。

錦地区連合会では、錦文化祭や錦地区防災訓練において実施しましたが、PR不足や雨天中止などの諸条件から、利用者が少なく、今後の取り組み方に課題を残しました。

会員の皆様におかれましては、「宮PASS」を大いに利用していただきたい。サービス提供施設や委託業者による支援店も現在170件と拡充され、職種も飲食店、菓子店、理容室、スポーツ施設や果樹園など多様な利用施設となっております。

なお、この「宮PASS」は2029年4月30日までの有効期間となっております。

JR宇都宮駅西口周辺地区の景観形成に該当する自治会が選出され、令和6年12月から始まり、令和7年12月で5回開催されました。開催して1年を経過しましたので、どのような勉強会をしているか簡単ではありますがご報告させていただきます。

第1回 令和6年12月 / JR宇都宮駅周辺地区整備計画の説明を受け、県都の玄関口にふさわしい魅力ある景観形成にするための意見交換をしました。

第2回 令和7年2月 / 「景観は」先人が築いた自然、歴史、文化などを積み重ねられるもので江戸時代から現在までの地域の成り立ちを学び、大判の地図に西口の「良いところ」「悪いところ」を付箋紙に意見を書き出し該当する場所に貼り付ける。

第3回 令和7年3月 / 景観形成を検討していくうえで①ライトライン沿線エリア ②田川沿線エリア ③奥州街道・川向銀座通り沿線エリアの3エリアに分け、用意されたワークシート3枚合計88項目に対し意見を付箋紙に記入し当てはまる項目に貼る。

わずか30分程度で考えまとめるので、市の方々、他地区自治会長の方とコミュニケーションを図り取り組みました。

第4回 令和7年9月 / これまでの勉強会のまとめと、今後のスケジュールについての説明がありました。

第5回 令和7年12月 / JR宇都宮駅西口周辺景観づくり推進協議会が設立され役員を選任と規約など決議され、また、今後についての説明がありました。

ライトラインの駅西側延伸は令和10年に工事着手し令和18年3月の開業をめざすスケジュールですが、他地区の自治会のメンバーとの会話では「10年後、生きて完成を見ることができればいいなあ～」との意見がありました。

今後、どのような勉強会になってくるかわかりませんが機会があれば別途ご報告いたします。よろしく願いいたします。



今泉町五丁目自治会の活動報告

今泉町五丁目自治会
会長 公家 守



今泉町五丁目自治会は、錦中央公園南側周辺127世帯で組織されています。7年度敬老会対象者が、99名とどちらかといえば高齢者の多い自治会ですが、今年度の錦地区体育祭では若い人の

協力も得られ優勝することが出来ました。

自治会は先細りしているという声を聞きますが、おかげさまで今のところ当自治会はこの数年、世帯数の変化はあまりありません。12名の役員さんが多岐にわたる会の運営に携わり、それぞれ担当の役割を果たしていただいています。

新旧班長様出席の総会、年4回の役員会では厳しい意見もありますが、和やかな雰囲気で行っています。また、5月から10月まで年6回今泉4号児童公園愛護会による草刈り清掃活動では、毎回数十名の参加者により親睦を深めています。

自治会は同じ地域に住む人が親睦や情報共有を図るための任意団体です。法で定められた枠組みでなく入退会は自由です。自治会に入会しているメリットは地域とつながっている安心感が得られることだと思います。もしもの災害時に「あの人は大丈夫かな？」と心配してもらえる人間関係を作っておくことが大切だと思います。家庭に閉じこもっていると負のエネルギーが増加するといえます。これからも人の集まる機会を多く作っていきたくと思っています。



創立75周年記念行事に向けて

錦小学校
校長 大森 信二



地域や保護者の皆様には、日頃より本校の学校教育にご理解を賜り、様々な学校行事等にご協力を頂いておりますことに感謝申し上げます。

錦小学校は、令和9年に創立75周年を迎えます。そこで、錦小学校75周年創立周年記念式典実行委員会を立ち上げ、令和7年6月25日と9月24日に開催いたしました。記念式典は令和9年の11月下旬から12月上旬を候補日として、今後調整してまいります。記念品は、校歌パネルを新調し、体育館に掲げたいと考えております。また、マスコットキャラクターの募集や、児童の参加を



メインとした式典、記念誌の作成など、詳細については、今後、実行委員会を中心に話し合いを進め、決定次第、学校だより等でお知らせいたします。

今年度も、地域や保護者の皆様には、ボランティアとしてたくさんのご協力をいただきました。様々な学校行事を実施する上で、児童の安全・安心を確保することが最も重要であります。地域や保護者の皆様とともに、地域全体で子供たちの学びや健やかな成長を支えていけるよう、地域と一体となって子供たちを育て、地域とともにある学校であり続けたいと考えております。

令和8年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度 錦小学校PTA活動

錦小学校PTA
会長 湊 弘之



地域の皆様には、日頃よりPTA活動への温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今年度は、5月に「学年対抗ソフトバレーボール大会」を開催し、6月には「宇都宮市P連ソフトボール大会」に参加いたしました。秋には、10月の「錦文化祭」にて今年も飲み物販売の模擬店を出店し、地域の皆様と交流することができました。続く11月の錦小学校でのPTA主催の「錦まつり」は、素晴らしい晴天に恵まれ、錦地区子供おはやし会の子供たちによる素晴らしいお囃子の中、子どもたちの笑顔が溢れ、子ども会育成会の皆様が出店くださった模擬店も大盛況、そして数年ぶりに復活したビンゴ大会も大いに盛り上がりました。また、今年もこの錦まつりと就学時検診の際には「体育着リサイクル販売」を実施し、多くの好評をいただきました。

一方で、例年8月末に実施していた錦小の校庭、校舎内の美化活動は、猛暑を考慮し中止いたしました。来年度からは形を変え、無理のない方法で学校環境の整備に協力していく予定です。

現在は、令和9年度を迎える「創立75周年」の記念式典に向けた準備も進めております。

今後も学校・家庭・地域が手を取り合い、子どもたちの成長を支えていけるよう努めてまいりますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。



錦地区子ども会育成会の活動

錦地区子ども会育成会連絡協議会
共同代表 堤 健嗣

錦地区子ども会育成会連絡協議会(錦地区子ども会育成会)は、自治会の下部組織である各子ども会が相互に連絡・連携し、地域の子どもの健やかな成長と安全を守るため、保護者・学校・地域住民の皆さまと協力しながら活動する組織です。今年度は会長のなり手不足を受け、3名による共同代表制を導入し、役割分担しながら運営体制を組織しました。また、従来のリーダー訓練を「錦チームチャレンジ」としてリニューアルし、ドッジビーや謎解きクイズ、火起こし体験などを通じて、子どもたちはチームワークの大切さを楽しく学びました。

夏のプール開放も保護者皆さんの協力のもと多くの子どもたちで賑わいました。

昨年は雨で中止となった錦まつりも、今年は晴天に恵まれ、子どもたちの笑顔あふれる楽しいイベントとなりました。

一方、スポーツ大会は雨天のため中



火起こし体験の様子

止となり残念でしたが、今後も子どもたちが安心して成長できる環境づくりを目指し、時代の変化に柔軟に対応しながら新たな活動にも取り組んでいきます。今後とも、皆さまの温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

地域とともにある学校を目指して

陽北中学校
校長 大場 賢治



日頃より、本校の学校教育にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。本校では、校訓「聴く 強く 美しく そして陽北中生としての誇りをもつ」を体現できる生徒を目指して、日々、教育活動を行っております。

学校では、10月に、県総合文化センターにおいて「文化祭・合唱コンクール」を行い、どの学級も練習してきた成果を素晴らしい歌声にのせて披露しました。11月のオープンスクールでは、全学年が「よさこい」を全力で踊りました。部活動でも全国大会に出場した陸上競技部をはじめ、多くの部活動で目標に向かって熱心に活動しています。

キャリア教育として、2年生の社会体験学習では地域の事業所で活動させていただき、働くことの尊さを学びました。また、1年生は「働く人に学ぶ」の授業で、地域の方を講師としてお招きし、ご講話いただき、将来の夢をもつきっかけとなりました。ご協力いただき、生徒の良い学びの場となりました。

今後とも、地域とともにある陽北中学校を目指して取り組んでまいります。引き続き皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



地域の皆様への感謝

陽北中学校PTA会長
菊池 浩子



地域の皆様には日頃より本校PTA活動にご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。今年度も地域の皆様におかれましては、陽北中の子供達の安心安全のためにご協力くださり本当にありがとうございました。

今年の陽北中は、保護者、生徒共に活気があり、どうしたらもっと陽北中が良くなるだろう、どうしたらもっと陽北中生徒と地域の交流が生まれるだろう、どうしたら子供たちの教育環境を向上させられるだろう、と一人一人がそれぞれの立場で一生懸命考え、行動してくださったと感じられる年度でした。

これもひとえに、地域の皆様があたたかく見守ってくださり、学校と地域、保護者が一丸となって、安心安全に過ごせる環境の整備と「生きる力」と「未来を拓く人間力」を育む活動ができるよう模索していただいた結果だと思います。これからもどうぞ子供たちの安心安全な環境の維持と明るい笑顔のためにご協力をよろしくお願いいたします。

親睦深めた“忘年一泊旅行”

老人会 錦ひばりクラブ
会長 新井 勝二

年末を迎え、一年の労を癒し親睦を深める“忘年一泊旅行”を晴天の12月15日(月)~16日(火)の二日間、参加者15名で実施しました。初日は、錦コミセンを後にして水戸の千波湖へ。白鷺と鴨がたわむれる湖畔を散策し、昼食は寒さを凌ぎ車中で。参加者のご婦人が朝早く作ってくれた栗赤飯と煮物と差し入れの苺、みかんを美味しくお腹一杯いただいて、その後由緒ある弘道館を横目に水戸城跡の立派な大手門を潜り二の丸展示館を見学。貴重な教育遺産の資料等に目を通し、水戸藩35万石を治めた水戸徳川家の偉大な一端を知ることができました。

見学後、記念撮影をして、一路阿字ヶ浦の宿“つるや旅館”へ。入浴休憩後はお楽しみの忘年宴会です。新鮮な魚の活き造りやあんこう鍋等々に舌つづみし、お酒がすすみ談笑に花が咲き、踊りやカラオケ、ダンスにと宴会は最高潮に。楽しい時間はアツという間に過ぎてお開き。続いてお決まりの二次会、楽しく語らい笑い、それぞれ床についた。

二日目の朝も好天。朝風呂を浴びて海辺に散歩に出た人も、寒さ知らずで潮の香を胸一杯に吸い込み、清々しく帰館。全員が旅館前に揃い“錦ひばりの歌”を合唱し、元気一杯ラジオ体操をして朝食。旅館前で記念撮影をして、那珂湊の魚市場、大洗のめんたいパーク、マリインタワーへ。沢山の土産を買って帰路につき、笠間稲荷神社で来年の運勢祈願をして、益子の道の駅を經由して無事宇都宮に帰って来ました。車中ではクイズや到着時間当てやビンゴなどをして楽しく賑やかな時間を過ごしました。参加者から「楽しかったよ」と「又来年も」とのお声を頂き、親睦も一層深まり、実施して良かったと思う二日間の旅でした。

一錦地域の皆さんへ。“互助心豊かな楽しい老人会への加入”心からお待ちしています。



令和7年度 敬老会開催の経緯

錦地区社会福祉協議会
会長 野中 和夫



日頃より地域の皆さまには大変お世話になっております。今年度は敬老会事業内容の見直し論が発出され、一時は開催することすら危ぶまれる状況になっておりました。そこに自治会連合会及び地区社会福祉協議会が猛然と反対を押し通し、市側も判断を覆すという経緯がありました。

そのような中で敬老会は従来通り9月の第2土曜日に開催することができました。当地区では敬老会招待者が1,240名を超え、錦地区コミュニティセンター内は招待状を持参した方々でいっぱいになっていました。混雑を避けるために福祉協力員がいてねいにやさしく、自治会毎の受付までご案内し、皆さまはご長寿のお祝い品を受け取られていました。

ひとり暮らし高齢者見守り事業については、今年度から年4回に亘って宅配品をご自宅までお届けし、直接手渡しして元気な様子を見守らせていただいております。



錦地区も高齢化

錦地区民生員児童委員協議会
会長 斎藤 敦子



いつも民生委員児童委員協議会にご協力いただきありがとうございます。この度、錦地区民生委員児童委員協議会会長となりました斎藤敦子でございます。

昨年11月に6名の方が退任され、新たに5名の方が着任されました。12月より12名でスタートいたしました。新任の方を温かく迎え入れていただけましたら幸いです。よろしくお願い致します。

民生委員は、一人暮らしの高齢者の見守り、安否確認を中心に活動しておりますが、児童・障がい者・生活困窮者からの相談事・困り事を関係機関につなげる、行政サービスへの橋渡し役も担っています。

主任児童委員は、子どもたちの健全な成長を願い、学校・保育園・子どもの家を訪問し、研修会にも積極的に参加しています。

現在、錦地区には一人暮らしの高齢者が430人ほどいらっしゃいます。令和4年には360人でしたのでこの数年で70人増えています。見守り活動には、地域の皆さまのご協力が必要です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

錦地区民生委員・児童委員協議会 委員名簿

氏名	担当自治会	役職・担当部会等
斎藤 敦子	今泉町8丁目中央、今泉中妻	会長
大室 圭子	—	副会長(会計)/主任児童委員
石川 一典	今泉町4丁目、八坂	副会長
堀内 純子	錦	監事
橋本 佳絵	今泉町5丁目	監事
間々田 薫	今泉町8丁目西	書記
小柳美恵子	今泉1丁目、今泉2丁目	
菅沼 玲子	北河原、今泉西	
鈴木 靖子	今泉町9丁目	
横山 崇	八坂西	
菅谷 花菜	今泉町8丁目東	
久木田紀美	—	主任児童委員

第61回錦体育祭開催

錦体育協会 篠崎 俊夫

令和7年10月12日(日)錦地区体育祭が開催されました。前日に雨が降り、開催できるか心配しました。当日は天候に恵まれ安堵の気持ちでいっぱいでした。地域に住む皆様が一堂に集まり、世代を超えて交流を楽しめる体育祭を実施できたことは、我が錦の誇りです。笑顔あふれる素晴らしい体育祭をこれからも続けて行きたいと願います。開催に向け各種団体の皆様や、準備に携わって頂いた方々のご協力を心より感謝申し上げます。今後も体協へのご協力をよろしくお願いします。



体育祭にわたあめ登場！ 世代を超えた交流のひととき

今泉町8丁目東自治会
会長 新井 裕子

令和7年度錦地区体育祭で、今泉町8丁目東自治会ではテント内にてわたあめを提供しました。自治会と子ども会の役員会で「子どもたちももっと楽しめる体育祭にしたいね」と話し合い、みんなでアイデアを出し合った結果、わたあめを実施することになりました。当日はお天気にも恵まれ、ふわふわのわたあめを手にした子どもたちの笑顔が会場いっぱいに広がりました。大人の方からも好評で、他の自治会の子も子どもたちが列を作って並び姿も見られ、うれしい交流のひとときとなりました。また、安全面への配慮として、わたあめをビニール袋に入れる際には割りばしを抜き、わたあめのみをお渡しする工夫をしました。わり割りばしが刺さってけがをしないよう、安心して楽しんでもらえるようにとの思いからです。実施にあたり、さまざまな調整をくださった体協役員の皆さま、準備・運営にご協力いただいた皆さま、そして電源提供にご協力くださった錦小学校さまに、心より感謝申し上げます。



「第19回錦文化祭」が開催されました

令和7年10月16日(木)～18日(土)の3日間「第19回錦文化祭」が開催されました。地域の皆様の作品展示会には約40組の出展があり、会場いっぱいに作品が展示されました。18日(土)の屋外催しでは、人気の模擬店や演奏会等、錦地区よりたくさんの皆さんにお越しいただきました。



「錦地区まちづくり交流会2026」が開催されました

令和8年1月17日(土)ホテルニューイタヤに於いて「まちづくり交流会2026」が開催され、錦地区まちづくり協議会構成団体より67名が出席しました。この事業は、地域の各種団体間の交流と親睦をはかることを目的として、錦地区自治会連合会および錦地区社会福祉協議会の協力のもと、錦地域まちづくり協議会の主催で毎年開催されているものです。当日は各種団体代表の方々からの団体紹介があり、終始和やかな雰囲気でした。



最強寒波に負けず 「歩け歩け大会」

毎年恒例となっている「歩け歩け大会」が2月1日(日)開催されました。朝9時、最強寒波襲来の中、地域の皆さん38人が2コース(10kmコースには18人、8.5kmコースに20人)に分かれてスタートしました。澄み切った青空の下、参加者同士の会話も弾み和やかに、昼頃には全員ゴールに戻ることができました。到着後は体協スタッフからの温かいうどんを美味しくいただきました。